

平成29年度 まちづくり懇談会（タウンミーティング）議事録

会議名	スポーツ少年団とのまちづくり懇談会 （タウンミーティング形式による）
開催日時	平成30年2月25日（日）正午～午後1時15分
開催場所	コミュニティセンター 談話室
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部公開
非公開の理由 （非公開の場合のみ）	個人を特定する情報については非公開とする ※「まちづくり懇談会実施要領」 10 懇談内容の公表 町民に対して積極的な情報提供を行う観点から、懇談会における懇談内容は、団体名や個人名を特定しない形式で、町広報紙や町ホームページで公開する。
議題	1) 子どもの運動能力低下を予防することや、青少年の健全育成のために、スポーツ少年団としてどのようなことができるか。 (2) スポーツ少年団が、町内中学校部活動や各種スポーツと連携して、町のスポーツ振興に関わっていくことができるか。
出席者	町：町長、生涯学習課内野課長、秘書室柴生田 住民：スポーツ少年団指導者・保護者会代表10名
配布資料	次第
審議等の内容又は概要	
1 開会	
2 タウンミーティング	
3 閉会	
質疑応答・意見提案 ※フリートーク形式で実施	
町長：皆さんの団体には他市町村の住民も参加しているとのことだが、その地域のスポーツ少年団はどうして廃止してしまったのか。	
団体：この種目に関して言えば、その地域クラブチームが多く、上手な子はそちらへ参加してしまうので、スポーツ少年団員が減少してしまった経緯がある。	
団体：かく言う私たちも、町内の他地区と合併しなければ団員数が少なくて廃止となってしまうと思う。	
町長：町のスポーツ少年団員数は減少している。子どもの数に対する団員の割合は以前から大きな変化はないが、町の子どもの数自体が減っているため団員数も減ってしまう。一方、スポーツ少年団に係る保護者の負担も分かる。遠征時の送迎など、負担もあれば、万が一事故を起こしたときの心配なども大きいと思う。そういった中で、他市町村では総合型地域スポーツクラブが立ち上がっているが、皆さんはどう思うか。	

団体：どのようなものか分からない。

団体：総合型地域スポーツクラブは、会員となりたい人がクラブ費を出して参加する。会員は大人から子どもまで年代を問わず、一緒に同じスポーツを行う。クラブには何種類かの種目がある。

団体：いろんなスポーツ少年団を一つにまとめるということか。

団体：もっと広い。大人が行っているスポーツ団体とスポーツ少年団を一緒にしたようなもの。例えば、一つの総合型地域スポーツクラブ内にインディアカやフラバールなどの種目があるようなもの。これまでだったら大人だけの単種目団体で一競技を行っていたが、複数種目の競技があり、それを大人も子どもも一緒に行う。

団体：私は地域でフラバールに参加しているが、子どももやりたいと言うので一緒に参加させている。そういった感じか。

団体：それが複数種目あるもの。

町長：今、流れは総合型地域スポーツクラブとなっている。他市町村の例では、NPO法人を立ち上げ、その法人が総合型地域スポーツクラブを運営している。いい意味で地域運営。

団体：来年度から小学校が統合され、一部地域ではスクールバスで通学することとなる。そうなったとき、子どもの運動不足が心配という保護者の声を聞く。

町長：施設は教育委員会の管理なので、学校の跡地利用については教育委員会を中心として検討を重ねてきた。この4月1日からは町へ管理権限を移行し、2年の期間を設けて更なる検討を重ねることとしている。その間は、体育館及びグラウンドは地域の皆さんで利用してもらうこととしている。

団体：自由開放ではないのか。昔は放課後になるとみんなが集まり、毎日のようにグラウンドで遊んでいた。そのような昔の風景に戻るといいと思っていたが。

町長：施設の管理や、施設内で起こりうる事故の責任等を考えると、なかなか自由開放というのは難しい。また跡地の活用については、地域の皆さんのアイデアをたくさん出してほしいと思っている。意見の一つには、企業などへ売却というものもある。確かに施設維持管理には多大な経費がかかるので、それも一つの案だと思う。一方で、教室のノスタルジックな雰囲気を利用してホテル運営を行っているような事例もある。

団体：オリンピックで銀メダルを獲得したスノーボードの平野選手のお父さんは、学校跡地を活用して選手の訓練施設にしたと聞いた。

町長：いずれにしても、皆さんの意見をたくさん出してほしい。地域だけで収まるような活用方法ではなく、川島町全体、ひいては比企全体で活用でき、県内にも轟くような施設となり、有名な事例となると、町の振興にも役立つと思う。

団体：子どもたちはいい環境でスポーツに取り組めて、とても良いと感じている。できれば中学に進学しても競技を続けてほしいと思っている。しかし、中学校のグラウンドが狭くて十分に練習できないと聞いている。

町長：今、学校の教師はやらなければならないことが多く、また運動経験も限られているので、部活の指導が困難だと認識している。町でも外部指導の導入等考

えているが、発想を変えて、中学の部活ではなく、総合型地域スポーツクラブのような地域ぐるみでスポーツに取り組むような仕組みにしていきたい。

団体：しかし、現状はそうではない。

団体：グラウンドが狭く、他の部活と一緒に練習をすることで、生徒同士ケガなどさせてしまうのではないかと、親として心配している。子どもが思いっきり練習に取り組めないのが現状。以前は、今の役場庁舎はサッカーコートだったので、広い練習場所があった。

団体：昔はもっとたくさんの部活が一緒のグラウンドで練習していた。今の子どもも同じようにはいかないのだろうが。

町長：今の庁舎は、サッカーコートのあった場所に建てる予定をしていた。そもそも空き地だったところを、他の用途がなければスポーツをするのに使っていたものが、いつの間にかサッカーコートとなってしまった。そういった意味で、川島は水害が心配な土地柄。国土交通省の計画によれば、当町は高台避難所の整備計画が盛り込まれている。私の希望としては、高台避難所はできれば整備してもらいたい。そこにサッカー場などができればいいなと思う。やや夢物語が含まれているが。

団体：確かに、水害が起こったときに町は避難できる高い建物が無い。

町長：川島に起こり得る災害で、特に心配しているのは地震と水害。万が一堤防が破堤してしまったら、川島は海と化す。ただし、万が一の話であり、破堤さえしなければさほど不安はない。昨年10月の台風の際、町は一生懸命ポンプアップしていたおかげで、浸水を免れた。

団体：あの台風の時、町外で浸水被害があったと聞き、こんなに近い場所なのに川島は大丈夫なのかと思っていたけど、裏側に町の尽力があったなんて知らなかった。

町長：万が一、堤防が破堤してしまったときは、町民はできるだけ町外へ避難してほしい。そのために、町民が町外へ避難した際、近隣市町村と災害協定を締結している。また、町内に高層建築を有する企業とも協定を締結しており、万が一町民が避難してきたときは、受け入れてもらえることとなっている。今は、庁舎とコミュニティセンターを結ぶ連絡通路に屋根を設置している。これは、半分は災害時のことを想定しており、災害時、物資の搬送などにこの通路を通るとき、物資を雨などに濡らさないことなどを考えたもの。話が少し逸れてしまったので、スポーツに戻りたいが、子どもたちがスポーツ少年団に入るには、保護者の負担が大きいことを認識している。だからこそ総合型地域スポーツクラブがあればよいと思うのだが、皆さんいかがか。

団体：実際に自分たちが立ち上げるとなると、なかなか難しい。

団体：一つの種目について、大人、中学生、スポーツ少年団が一緒になって「タテ」のつながりをもってできると良いと感じている。実際、あるスポーツを始めたくても中学にその部活動がなくてできないという子もいる。だから、私の住む地域では、大人のスポーツ団体に子どもが参加できるようにしている。

町長：それは良い取組みだと思う。更にそこから、地区同士のように「ヨコ」のつな

がりへと広げていければ良いと思う。

(町)：総合型地域スポーツクラブについて、他市町村などはやはりスポーツ少年団が起源となって派生していったものが多いと聞く。総合型地域スポーツクラブとするにはある程度の条件があるが、その条件をクリアすれば、スポーツ振興くじから100万円くらいの助成金を受けられる。

町長：皆さんの意向さえあれば、助成金の手続きなど支援はできる。また、法人を立ち上げるための支援もできる。総合型地域スポーツクラブが立ち上がれば、スポーツ指導などの業務を委託するという形で、運営費を支出することも可能かと思う。

団体：町のスポーツ施設の管理運営なども、総合型地域スポーツクラブで受託できると聞いている。そうすると、学校跡地などの管理運営を「委託」という形で使うことも可能か。

(町)：制度的には可能。他市町村にも総合型地域スポーツクラブがあるが、皆さんは知っているか。

団体：余りよく知らないが、他市の運動施設の一つは常に開放されていて、自由に利用できるようになっている。

(町)：おそらく指定管理としていて、指定された法人がそのような取扱いをしているのだと思う。

町長：もし総合型地域スポーツクラブを立ち上げるのなら、NPO法人が良いのではないかと思う。地域に係るすべてのことを町職員が担うのは正直厳しい。職員数は減っており、行うべき業務は増えている。また、地域のことはできる限り地域で対応するのが良いと思う。そこに金銭的な支援をすることは可能かと思う。

(町)：川島の規模であれば、地域で一つとなって取り組んでいくことができると思う。ただ、いずれにしても核となる人物が必要。また地域の協力も不可欠。

団体：正直なところ、その提案は今までと何が変わるのかが分からない。

団体：総合型地域スポーツクラブのイメージがつかめない。先ほど話に出た「タテ」のつながりというのはよく分かったが。

町長：「タテ」のつながりは比較的作りやすいと思う。それをもう少し幅広くしたものが総合型地域スポーツクラブ。

団体：もし総合型地域スポーツクラブが立ち上がれば、大人が中学生やそれより低年齢層の子どもたちをみられるようになるということか。

町長：もちろんそうなる。ただ、大人世代だけでは指導しきれない部分もあるかと思うので、もう少し専門性を持った指導者なども必要となってくると思う。総合型地域スポーツクラブができたら、町民、町外の人といった区別なく、みんなが利用できるような仕組みとなってほしい。例えば今年度開始したかわみんハウスは、他市町村の利用者も多い状況。

団体：私はかわみんハウスを知らないが、どういった施設なのか。

町長：小さい子から小学生などが遊びの場として利用できる施設。小さい子どもには、プレイリーダーがいろいろ遊びを提供してくれる。

団体：かわみんハウスは、小学校就学前の小さい子どもには良い施設かもしれないが、小学生にはやや利用しにくい。ボールの持込みが禁止されており、サッカーの練習などはできず、また持ち込めたとしても、小さい子どもにケガをさせてしまう危険性がある。

町長：確かにボールの持込みは禁止とさせてもらっている。やはり施設管理の観点で考えると、事故は避けたい。

団体：小学生が遊べる場所がないと思う。

町長：確かにそのとおりかもしれない。ではすぐに施設を造れるかと言えば、そう簡単にはいかないこともご理解いただきたい。